スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

石川県小松市

自 治 体 名 ： 石川県小松市
担 当 課 名 ： 小松市教育委員会学校教育課
電 話 番 号 ： 0761-24-8122

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	371㎢
人口	104,976人
公立中学校数	10校
公立中学校生徒数	2,827人
部活動数 （運動部活動のみ）	71部活
地域クラブ活動数	33クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

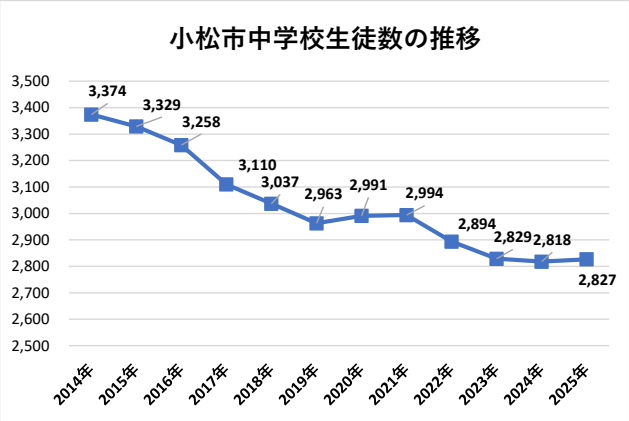
地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

小松市の中学校生徒数の推移をみると、この10年間で約500名、17%余りの減少が見られ、その間、部活動の数を減らした学校もある。

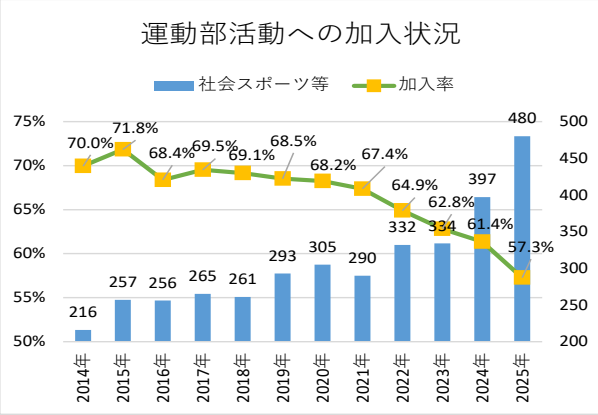
今後も同様のペースで減少が見込まれ、少子化の傾向は続くと予想される。

運動部活動加入率も年々減少し、60%を切っている。一方、学校部活動以外の社会スポーツや民間の活動団体への加入者数も年々増加しており、ここ10年で2倍近くまでに増えている。中には、学校にその競技があっても、社会スポーツに入る生徒も増えてきている。このことから生徒や保護者のニーズが多様化している状況がうかがえる。このように、各校の生徒数や部活動数および部員数の減少により、子どもたちに充実した活動機会の保証ができず、学校単位で団体競技等の部活層も維持できないのが現状である。

そのため、令和4年度より国の実証事業に向け準備を進め、まちづくり財団の中の市スポーツ協会が中心となって、各競技ごとに地域移行を試行し、令和5年度は2競技、令和6年度は、7競技で試行を進め、今年度の9月の市新人戦以降は、すべての競技において休日の地域展開を決めている。今後、種目別協会等の受け皿を拡充していくとともに、地域展開にあたって学校教職員の兼職兼業以外の指導者の確保や質の担保も図っていかなければならない。



出典:学校基本調査



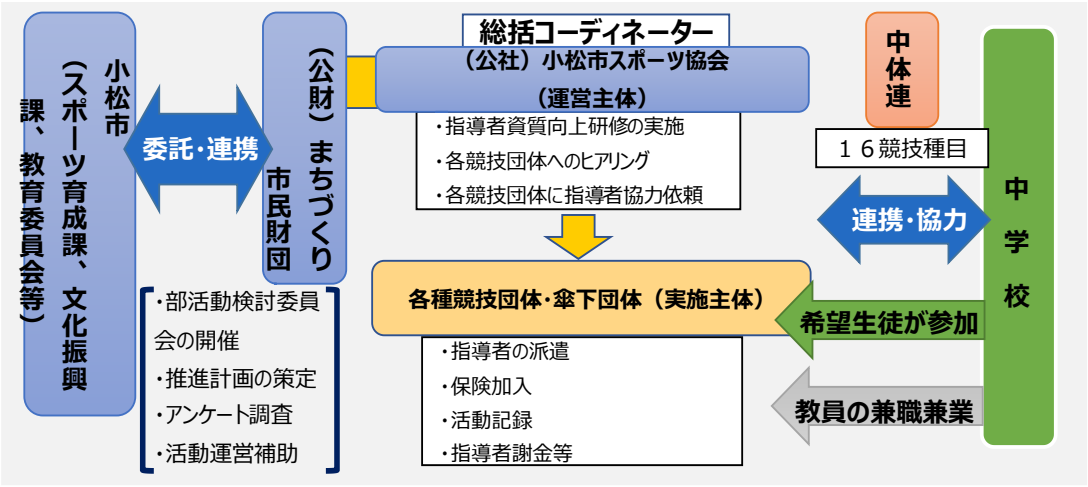
出典:市中体連事務局

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●小松市における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会（学校教育課、生涯学習課）
・学校教育課…部活動指導員、外部指導者の配置、教員の兼職兼業、学校および中体連との連携・生涯学習課…学校施設の開放

◉首長部局（スポーツ育成課、文化振興課）
・まちづくり市民財団（市スポーツ協会）との連携
・各種目別協会、地域クラブとの連携
・市民、関連団体への情報周知

◉コーディネーター（小松市まちづくり市民財団）
・定例会の開催・指導者研修会の開催　・県への予算申請、収支報告(市教委へ)・種目別協会からの予算申請・収支報告手続き　・種目別協会への支払い

年間の事業スケジュール

令和7年4月	• 市の広報誌に部活動の地域展開の記事を掲載
令和7年5月	• 教育委員会、首長部局、委託先のまちづくり市民財団、中体連との定例会の開催 • 教職員アンケートの実施
令和7年6月	• 受け皿が検討中の種目別協会とのヒアリングの実施 • 学校開放利用の手引きの作成
令和7年7月	• 第2回定例会の実施
令和7年9月	• 校長会で地域展開について説明 • 秋の新人大会以降、休日の運動部活動の完全地域移行
令和7年11月	• 第3回定例会の実施
令和8年1月	• 市の広報誌に記事とともに4月からの部活動地域展開受入団体一覧を掲載 • 第4回定例会の実施
令和8年2月	• 指導者講習会の開催
随時	• 市HPの更新 • 地域指導者の募集

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		33クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（および移行された部活動数）		33クラブ（71部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		0クラブ
全体の指導者数	138人	全体の運営スタッフ数	33人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
小松桜木剣正会	小松市剣道協会	剣道	・休日　1回	9:00～11:00	1年生：24 2年生：11 3年生：22	令和7年4月～令和8年3月	9人	2人	0円/年額（等）	中体連：地域クラブ
小松桜木	小松市柔道協会	柔道	・平日　3回 ・休日　1回	平日18:00～21:00 休日9:00～12:00	1年生：8 2年生：2 3年生：1	令和7年4月～令和8年3月	7人	1人（内、兼務0人）	0円/年額（等）	中体連：部活動
小松市ハンドボール協会	小松市ハンドボール協会	ハンドボール	・休日　1回	8:30～11:30	1年生：43 2年生：40 3年生：12	令和7年11月～令和8年3月	15人	2人	0円/年額（等）	中体連：部活動
小松市野球協会	小松市野球協会	野球	・休日　1回	9:00～12:00	1年生：16 2年生：14	令和7年4月～令和8年3月	6人	1人	0円/年額（等）	中体連：部活動

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
K'S体操クラブ	小松市体操協会	体操	・休日　1回	14:30～16:30	1年生：7 2年生：6	令和7年4月～令和8年3月	4人	1人	0円/年額（等）	中体連：部活動
小松市陸上競技協会	小松市陸上競技協会	陸上	・休日　1回	8:30～11:30	1年生：93 2年生：27	令和7年4月～令和8年3月	2人	1人	0円/年額（等）	中体連：部活動
芦城男子バスケットボールクラブ他10クラブ	小松市バスケットボール協会	バスケットボール	・休日　1回	8:30～11:30	1年生：121 2年生　：70	令和7年10月～令和8年3月	13人	1人（内、兼務0人）	0円/年額（等）	中体連：部活動
小松市卓球連盟	小松市卓球連盟	卓球	・休日　1回	9:00～12:00	1年生：20 2年生：24 3年生：10	令和7年4月～令和8年3月	8人	1人（内、兼務0人	0円/年額（等）	中体連：部活動
松陽VCほか11クラブ	小松市バレーボール協会	バレーボール	・休日	8:30～11:30	1年生：90 2年生：64	令和7年10月～令和8年3月	30人	1人（内、兼務0人	0円/年額（等）	中体連：部活動
小松市カヌー協会	小松市カヌー協会	カヌー	・休日　1回	8:30～11:30	1年生：6 2年生：1 3年生：0	令和7年10月～令和8年3月	2人	1人（内、兼務0人）	0円/年額（等）	中体連：部活動
小松ジュニアレーシングチーム	小松市スキー協会	スキー	・平日　3回 ・休日　1回	平日18:00～21:00 休日9:00～12:00	1年生：6 2年生：4	令和7年4月～令和8年3月	15人	1人（内、兼務0人）	0円/年額（等）	中体連：地域クラブ

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
小松ジュニアローイングクラブ	小松ジュニアローイングクラブ	ローイング	・休日　1回	8:30～11;30	1年生：10 2年生：6	令和7年10月～令和8年3月	2人	1人 （内、兼務0人）	0円/年額（等）	中体連：部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●特になし

2.実証内容と成果

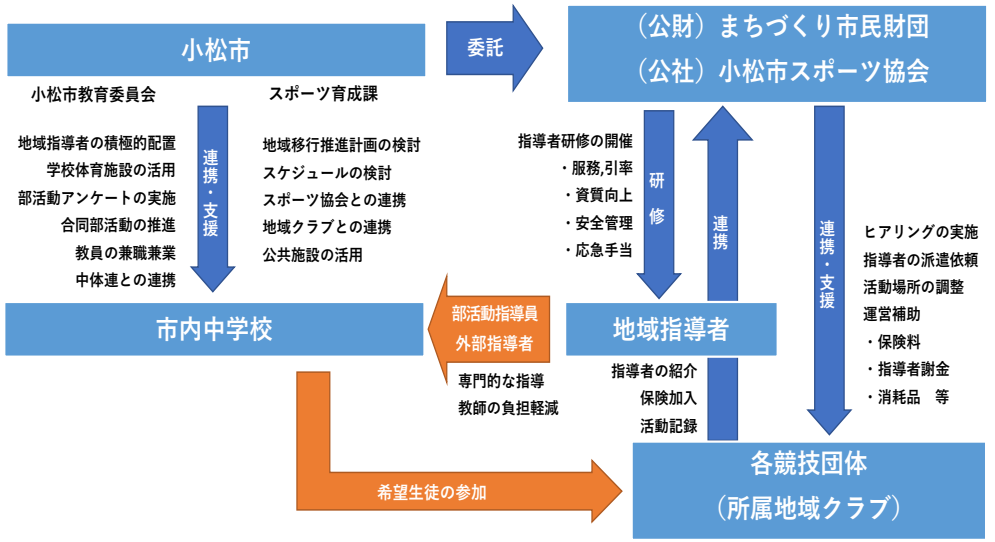
スポーツ庁

主な取組例

●小松桜木・K's体操クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	柔道・体操
運営団体名	柔道：小松桜木 体操：K's体操クラブ
期間と日数	柔道：月8回程度 体操：月8回程度
指導者の主な属性	種目別協会会員
活動場所	柔道：市内公共施設 体操：市内公共施設・クラブ専用練習場
主な移動手段	各自集合
1人あたりの参加会費等（年額）	柔道：0円 体操：0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●統括責任者

役割：学校担当者へ練習会の案内を行う。
　　活動報告書を作成する。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 市まちづくり市民財団が総括コーディネーターを担う。
- 競技別の運営主体となる種目別協会との窓口は、市スポーツ協会が担い各種目別協会に指導助言を行う。

取組の成果

- 競技別の運営主体となる種目別協会は、市スポーツ協会の加盟団体であるため、連絡調整や各種相談において円滑に行うことができた。
- 部活動の地域移行に取り組む競技は、令和6年度は7競技だったが、種目別協会の協力により、11競技で実施することができた。
- 公的支援（例えば、財政的支援、公共施設の優先利用、使用料減免等）の対象とする地域スポーツクラブ活動の要件や基準等をより明確化した。

今後の取組における課題

市の方針により、令和7年秋（新人大会後）からは、休日の活動を完全に地域展開とすることを定めスタートしたので、中には試行的な状況（競技別の実施方法が明確に定まっていない）の競技もある。

課題への対応方針

- 指導者の確保等、課題は沢山あったが、各種目別協会（競技団体）のご尽力により、徐々に定着しつつある。
- 引き続き各競技（種目別協会）ごとに個別ヒアリングを実施し、実施方法やガイドライン等について助言を行う。

コーディネーターの具体的な動きの実績

- 定例会（市教育委員会、市中体連、市スポーツ育成課、市スポーツ協会、市まちづくり市民財団）の開催
- 各競技（種目別協会）からの相談窓口となり、適時相談を受ける

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- 参加者（保護者）への、活動実施や出欠等について、グループLINEを活用

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

- 指導者研修会の開催
  期日：令和8年2月18日（水）
  演題：NO！スポハラ「スポーツ指導者のための安心・安全な指導環境づくり」
  各競技（種目別協会）に対し適時、会計処理に関する指導（指摘）

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

- 活動中の生徒同士のトラブルや事故等の対応を含め管理責任の主体、および、事故等が発生した場合における保護者や関係機関等との適切な連絡調整については、各競技（種目別協会）に帰するが、今後より円滑に行うためのガイドライン等の整備が必要

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- 市のHPや広報誌に地域の指導者募集を掲載
- 小松市まちづくり市民財団（再々々委託先）のHPでも指導者募集の掲載、各種目別競技団体とのマッチング
- 部活動指導員や市の外部指導者等の人材の活用
- 兼職兼業による指導を希望する教職員と種目別協会とのマッチング
- 指導者資格取得に対する補助

今後の取組における課題

- 地域クラブ指導者の質を担保するため、どの程度の水準まで求めていくかが難しい。
- 研修会を開催しても、種目別協会理事長等の参加はあっても、直接生徒を指導している指導者の参加が少ない。
- 競技によっては、地域クラブに参加する生徒と指導者数のアンバランスがみられた
- 大会前の活動において、部活動と地域クラブ活動の扱いにやや混乱が見られた

取組の成果

- 部活動指導員や市の外部指導者のうち、何名かは、休日の地域クラブ活動の指導に従事してもらった。
- 小中学校の教職員の兼職兼業により種目によっては指導者を一定数確保することができた。
- ボート、カヌー、ハンドボール、スキー等、近隣の市町にはない種目についても、ある程度の指導者を確保し、受け入れ体制を整えることができた。

課題への対応方針

- 指導者研修会の内容や参加の方法（オンラインやレポート等）を検討し、一人でも多くの指導者に研修を受けてもらえるようにする。
- 県や他市町と連携し、研修会の合同開催や近隣の市町の研修会への参加を可能にしていく。
- 部活動の顧問と地域指導者との情報共有の場を定期的に開催する。
- 生徒や指導者が混乱しないよう、大会参加や大会前の指導体制について、ルールの周知を図る。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

- 各競技（種目別協会）が受け皿団体を担うことで、各種目別協会の役員、理事、協会員が協力
- 広報、ホームページ等で指導者を募集
- 部活動指導員や市の外部指導者等の人材の活用
- 兼職兼業による指導を希望する教職員と種目別協会とのマッチング
- 指導者資格取得に対する補助

指導者研修の内容

研修名	NO！スポハラ「スポーツ指導者のための安心・安全な指導環境づくり」－スポーツハラスメントを防ぎ、選手の成長を支えるかかわり方－
講師	熊谷史佳　金沢大学大学院博士後期課程
研修内容	スポーツハラスメントの 基本的な考え方と具体例を整理し、「なぜ起こるのか」「なぜ気づきにくいのか」 心理学の視点から解説。 さらに、選手のウェルビーイング （心身の健康）とモチベーションを 高める関わり方についても紹介し、 ハラスメントを「しない」だけでなく、 選手と指導者の双方が安心して成長できる指導環境を考える。

指導者研修受講者の声

- 令和8年2月18日（水）に実施

指導者の資格取得促進に向けた取組

- 指導資格の取得を各競技（種目別協会）へ促し、受講料の一部を補助。

資格取得資金を申請した団体	2団体
本年度資格取得金の援助を受けた指導者	2人
資金援助により今年度資格取得した指導者	2人

平日・休日の一貫指導に関する取組

- 参加者（保護者）への、活動実施や出欠等について、グループLINEを活用
- 兼職兼業で指導にあたる教員との連携

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

小松市スポーツ協会が各競技（種目別協会）からの相談窓口となり連携の強化を図る。

取組の成果

- 令和5年度より各競技（種目別協会）と結びつきが強い小松市スポーツ協会が窓口になることで、各種目別協会と定期的なヒアリングを行うことができた。
- 小松市まちづくり市民財団、小松市スポーツ協会、スポーツ育成課、文化振興課、学校教育課、生涯学習課、市文化協会、中体連による定例会を定期的に行い、進捗状況の確認や課題の洗い出し、見通しの共有等、部活動の地域展開の推進に向けた協議を活発に行うことができた。
- 中学校長を通じて部活動の顧問に地域展開の周知及び兼職兼業による指導が可能であることの周知を行い、スムーズな移行のための取り組みを行った。
- 各競技団体との協議の結果、令和７年度秋からの運動部活動の休日の地域展開を実行することができた。

今後の取組における課題

- 実施方法が明確に定まっていない競技の今後の進め方
- 教員への兼職兼業制度の周知及び理解
- 児童、および保護者への分かりやすい説明
- 新規地域クラブの登録や競技団体との連携（競技団体に加入していないクラブとの連携のあり方）
- 指導者不足への対応

課題への対応方針

- これまでより更に充実した活動内容になるよう、各競技（種目別協会）と常時ヒアリングを実施し連携強化を図る。
- 各競技（種目別協会）に働きかけ、受け入れ体制の強化を進めていく。
- 新規地域クラブの登録や競技団体との連携のための助言
- 保護者および地域住民等にも広く周知していくため、HPの更新と充実を図る。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

- ハンドボール競技において、加賀市と連携し活動
- 剣道競技において、他市の生徒を受け入れ活動

取組の成果

各市によって競技別の指導者数にバラつきがあるので、自市では活動が困難な点を補うことができる。

特にチームスポーツにおいては、他市からの生徒を受け入れることによって、より充実した活動を行うことができるほか、近隣市町と連携することによって、より広い選択肢を生徒に提示することが可能となる。

今後の取組における課題

・費用負担について明確化が必要
（国への報告時の費用負担についての基準を明確化）
・広域的取組を行うことによる移動の広域化
（活動場所への移動手段、負担の増加）
・近隣で活動実績のない競技への対応

課題への対応方針

・費用負担
・施設・備品の使用
・移動手段の確保

市同士の連携案件であるので、県担当課にも指南いただきながら、調整を図る。
※全国的にも同様の事案が存在すると考えられるので、国には対応方法のデータベース化及びその更新・周知をお願いしたい。

市区町村等を越えた取組

- ハンドボール競技において、加賀市と連携し活動
- 剣道競技において、他市の生徒を受け入れ活動
- 陸上競技において、施設改修中の市外施設の利用
- 競技人口の少ない競技や、本市に活動団体が存在しない競技（逆の場合を含む）についても、近隣市町と情報共有を行い、指導体制が整っているところがあれば市域を超えた広域連携を模索

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組事項

令和7年秋の小松市新人大会後の休日の地域展開に向け、まだ、受け皿として体制が整っていない競技（種目別協会）に対して、ヒアリングを実施した。

ヒアリングの内容

① 現在の状況
② 今後について
③ 指導者・活動場所の確保について
④ 必要な用具等
⑤ その他

取組の成果

令和7年秋（新人大会後）からは、休日の活動を完全に地域展開とすることが決まったことにより、まだ、受け皿として体制が整っていない競技（種目別協会）の動きが加速した。

さらに、一部競技（軟式野球、サッカー）については、平日を含めた完全展開を実施することとなっている。

今後の取組における課題

各競技（種目別協会）は、それぞれ様々な懸案事項を抱えている。大きなものとしては、

① 指導者の確保について
② 活動場所の確保について
③ 運営に必要な費用について
④ これまでの部活動と同じく、市の体育大会に参加できるか

等が挙げられる。

課題への対応方針

・各競技（種目別協会）とのヒアリングを常時実施し連携強化を図る。
・指導者については、引き続き市HP等で募集、及び教員の兼職兼業、研修の実施によって質・量を担保していく。
・活動場所については、学校施設など市の施設を活用することによって確保に努める。
・運営に必要な経費については、国、県、市が一体となって支援を行うとともに、最低限度の受益者負担の呼びかけも行う。
・大会の参加については、各大会主催者に参加が認められるために必要な資格等を確認し、生徒が不利益を被らないよう配慮する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

○スポーツ保険等、必要な経費を負担する。
○指導者の謝金等は、市の部活動地域移行運営等補助事業で賄い、保護者負担の軽減を図る。

取組の成果

○市として、小松市中学校運動部活動地域移行運営等補助事業を立ち上げ、種目別協会からの申請により、指導者謝金、保険料、会場使用料、消耗品、通信運搬費等の補助を行った。

今後の取組における課題

○現在、国の補助と市の予算により、参加者の費用負担の支援を行っているが、市の予算も限りがあるので、受益者負担も含めた予算の確保を考えていかなければならない。そのためには、保護者負担経費の調査を行う必要がある。

課題への対応方針

○経済的困窮世帯の生徒が地域スポーツクラブ活動に参加する場合に、参加費等の一部または全部を減免することも考えていかなければならない。

●収入

項目	費用	割合
公費	6,757,667円	100%
事務局運営費	1,513,897円	100%
合計	7,587,964円	—

●支出

項目		費用	割合
地域クラブ活動費		6,757,667円	100%
	諸謝金(指導者)	4,914,000円	72.7%
	会場使用料	214,590円	3.2%
	消耗品費	793,885円	11.7%
	印刷製本費	1,320円	0.1%
	交通費	26,040円	0.4%
	雑役務	43,540円	0.6%
	保険料	764,292円	11.3%
事務局運営費		1,513,897円	100%
	会場使用料	7,500円	0.5%
	交通費	67,317円	4.4%
	振込手数料	3,520円	0.2%
	一般管理費	683,600円	45.2%
	消費税相当額	751,960円	49.7%
合計		7,587,964円	

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

当市では従来から、学校教育に支障のない範囲で学校体育施設の一般開放を行ってきた。地域展開クラブについても、この制度の中で学校施設を利用している。ただし、地域展開クラブについては、その他の団体より優先して利用できることとしている。

※予約
地域展開クラブは3月前から可能。その他団体は1月前から可能。
地域展開クラブとその他団体の予約が重なった場合は、地域展開クラブ優先。

取組の成果

一部団体を除き、学校施設を利用した活動ができている。
一部団体についても、武道館や市の体育施設で活動ができている。

今後の取組における課題

従来の部活動と比べ、その他の団体との利用に関する調整が必要となってくる。その際、優先されているとはいえ、その他の団体が利用する権利も考慮する必要が出てくる。

課題への対応方針

現在、完全移行の過渡期であるため、移行過程に伴い、必要であれば学校体育施設の開放の制度見直しを行い、スムーズな移行に努めていきたい。

学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

- ICT の活用による予約システムの検討
- 予約システムと連動したスマートロックの導入、キーボックス等による鍵の受け渡しの検討

【現状】
① 現状は学校開放にかかる管理指導員が予約申請
② 学校への確認
③ 利用申請書等の学校への提出
④ 学校長の許可ののち生涯学習課へ利用申請書等送付
⑤ 利用団体へ利用許可書発行↓
⑥ 管理指導員がキーボックスの暗証番号を設定し、利用団体へ通知
⑦ 利用団体は暗証番号によりキーボックスを開き施設利用
⑧ 利用後キーボックスへ返却

用具使用・管理等における取組

- 学校と学校開放制度にかかる管理指導員、地域展開クラブとの連携強化。
- 他の利用団体と同様、備品等の破損に対応するため損害保険への加入の義務付け。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

地域展開の受け皿が検討中の競技団体に対して、何度かヒアリングを実施し、令和7年秋（新人大会後）からは、休日の活動を完全に地域展開とすることで、すべての競技において地域展開を実施することができた。

指導者の確保等、課題は沢山あったが、各種目別協会（競技団体）のご尽力により、徐々に定着しつつある状況に至った。

市HPの関係ページも随時更新し、市内全戸配布の「広報こまつ」1月号には、特集ページを記載し、今後の取り組み等を説明した。

●成果の評価

- 部活動の休日の地域展開に取り組んでいる競技は、16競技すべてとなった。
- 市HPの充実、市内全戸配布の「広報こまつ」特集ページにより、周知を図ることができた。
- 部活動の地域展開が休日のみならず、平日も実施したり、新たな地域クラブを立ち上げたりする競技も出てきた。

●今後に向けて

- 試行的な状況（競技別の実施方法が明確に定まっていない）でスタートしたの競技もあるので、より明確な実施方法で活動できるようヒアリング等にて指南していく。
- 全ての競技において、活動の責任を担える指導者のさらなる確保と育成が課題である。
- 平日を含めた生徒の移動手段の問題や受益者負担を含めた予算の確保等、今後検討していく必要がある。

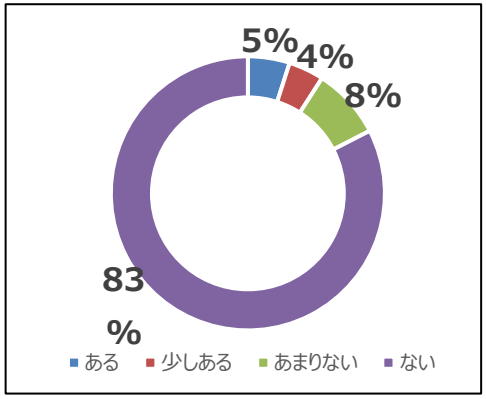
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

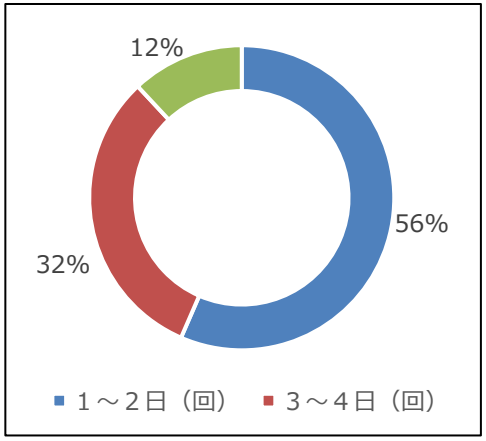
アンケート結果・教職員の声

●教職員アンケート結果

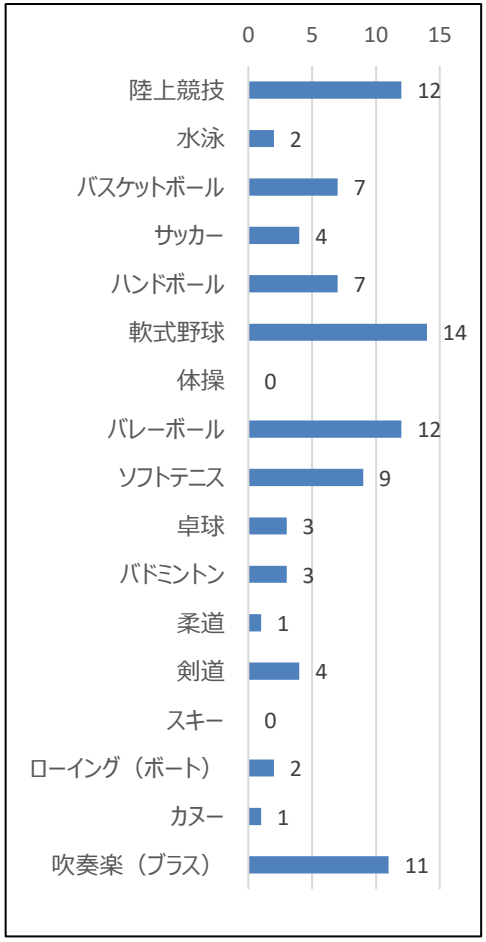
Q4.秋以降の地域展開の指導者について興味関心はありますか？



Q10.もし、指導するとなった場合、ひと月に何日（回）くらい指導できますか？（したいですか？）



Q9.（地域スポーツ指導者として指導する場合）どの種目の指導者をしてみたいですか？（一つ選んでください）



●教職員の声

教職員①
参加する場合の手当や報酬等によって考慮したい。

教職員②
このような地方では、場所、指導者のことで問題が生じます。

教職員③
サッカーのC級指導者資格を持っていましたが、更新せずなくなりました。自分の子供との時間や、自分の時間も大切にしたいので、土日の活動はなるべく避けたいと思っています。

教職員④
今の2年生が土日に活動できるようにしてあげたい。地域クラブで指導することになった場合、他校に異動になっても、そのクラブを指導できるようにしてほしい。

教職員⑤
早急に部活動を廃止して地域の活動に移行してほしい。

教職員⑥
現在、軟式野球部の顧問を担当していますが、秋以降は兼職兼業の指導者として土曜日の活動で指導にあたりたいです。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

広報こまつ



部活動地域展開受け入れ団体一覧（令和8年4月～）

※令和7年12月18日現在（以後変更の可能性があります。）

種目	団体名	活動場所	活動日
剣道	小松桜木剣正会	小松市武道館剣道場	火・金・土
柔道	小松桜木	小松市武道館	月・火・木・土
ハンドボール	小松北（男子）クラブ 芦城スクール	芦城中学校体育館	土・祝
	小松北（男子）クラブ 板津スクール	板津中学校体育館	土・祝
	小松南（男子）クラブ 南部スクール	南部中学校体育館	土・祝
	小松南（男子）クラブ 御幸スクール	御幸中学校体育館	土・祝
	小松北（女子）クラブ 芦城スクール	芦城中学校体育館	土・祝
	小松南（女子）クラブ	南部中学校体育館または御幸中学校体育館	土・祝・月 火・木・金
	石川ハンドボールスクール（男子）	小松市立高校体育館または小松総合体育館	火・木 金・土
	石川ハンドボールスクール（女子）		火・木・金 日・祝
バドミントン	小松ジュニアバドミントンクラブ	小松市武道館体育室	土
	南部ジュニアバドミントンクラブ	南部中学校体育館	日
	国府ジュニアバドミントンクラブ	国府地区体育館	日
体操	K'S体操クラブ	日末練習場（K'S体操クラブ練習場）	土・日（どちらか）
軟式野球	小松北（仮称）	中海中学校グラウンド	火・木・土
	小松南（仮称）	御幸中学校グラウンド	火・木・土
	小松ベースボールクラブ	安宅中学校グラウンド	火・木・土
サッカー	小松市サッカー協会	こまつドームまたは市内中学校	土
陸上	小松市陸上競技協会	末広陸上競技場または市内中学校	土

※活動日が土・日曜日、祝日のみの種目は、これまでどおり平日の部活動も行っています。

指導者募集

部活動地域展開の指導者を募集しています。興味のある人はご連絡ください。

申込方法　メールの件名を「小松市部活動地域展開指導者希望」とし、本文に氏名・住所・連絡先を入力の上、送信してください。

申込先　小松市まちづくり市民財団

✉kskkousya@city.komatsu.lg.jp

◀詳しくはこちら

種目	団体名	活動場所	活動日
卓球	小松市卓球連盟	西部地区体育館	土
カヌー	小松市カヌー協会	木場潟カヌー競技場	土
ローイング（ボート）	小松ジュニアローイングクラブ	梯川ボートハウス	土
バレーボール	Blue star（女子）	西部地区体育館	土・祝
	松陽女子VC	松陽中学校体育館	土・祝
	松陽男子VC	松陽中学校体育館	土・祝
	南部クラブ（男子）	南部地区児童体育館	土・祝
	南部クラブ（女子）	南部地区児童体育館	土・祝
	中海クラブ（女子）	中海中学校体育館	土・祝
	丸内クラブ（男子）	丸内中学校体育館	土・祝
	国府U-15男子バレーボールクラブ	国府中学校体育館	土・祝
	板津クラブ（女子）	板津中学校体育館	土・祝
	御幸クラブ（女子）	御幸中学校体育館	土・祝
	松東クラブ（女子）	松東みどり学園体育館	土・祝
	芦城クラブ（女子）	芦城中学校体育館	土・祝
バスケットボール	松陽男子バスケットボールクラブ	松陽地区体育館	土
	芦城男子バスケットボールクラブ	芦城中学校体育館	土
	国府女子バスケットボールクラブ	国府小学校体育館	土
	南部女子バスケットボールクラブ	南部中学校体育館 南部地区児童体育館	土
	中海男子バスケットボールクラブ	中海地区体育館	土
	丸内女子バスケットボールクラブ	北部地区体育館	土
	南部男子バスケットボールクラブ	南部中学校体育館 南部地区児童体育館	土
	小松市バスケットボール協会	松陽地区体育館	土
	松陽女子バスケットボールクラブ	松陽地区体育館	土
	板津男子バスケットボールクラブ	板津地区体育館	土
	安宅男子バスケットボールクラブ	安宅中学校体育館	土
スキー	小松ジュニアスキーレーシングチーム	大倉岳高原スキー場	火水木土日（冬季のみ）
水泳	各スイミングクラブによる		
ソフトテニス	小松市ソフトテニス協会	末広テニスコート	土

特集

現在の部活動とこれからの部活動

市では、令和7年秋から中学校運動部の土・日曜日の活動が地域団体の運営に移行しています。中学校部活動の現状と将来について、山本教育長に伺いました。

問い合わせ　学校教育課　☎24・8122

Q.1 中学校の部活動が無くなると聞きました。

A.土・日曜日は、地域団体が指導の主体となり、従来どおりの活動を行います。全体の活動期間も平日と合わせてこれまでどおりです。活動場所も変わりません。
※競技によっては会場の変更もあります。

Q.2 これまでどおりの部活動で良いのではないでしょうか。

A.生徒数の減少によりチームが組めない、顧問が配置できない、といった課題があります。自分の学校にない種目の活動を土・日曜日に取り組めるため、生徒の選択肢が広がるというメリットがあります。

Q.3 どんな活動があるのかが、保護者や生徒に情報が届かない。

A.市ホームページで受け入れ団体の一覧を見ることができます。また、新入生の説明会などでも情報発信していきます。

Q.4 これからの部活動はどうなるのでしょうか。

A.生徒数の減少は今後も続くため、先生だけで指導を担うことが難しい状況です。将来的には平日も含め、地域指導者とスポーツ協会所属の先生による運営を目指します。文化部も令和8年度以降は地域指導者が担う活動への移行を予定しています。

これからの部活動とは？
教育長　山本 民夫さん

地域団体指導者の声

陸上競技　指導者　濵野さん
部活動地域移行を通して、市内各中学校の垣根を越えた指導ができればと考えています。まだこの活動は始まったばかりですが、各競技に打ち込む子供たちが活躍できるよう、皆さんのエネルギー源として貢献したいと思っています。

陸上競技　指導者　角地さん
私自身が打ち込んできた陸上に「地域の指導員」として携わることができ、とてもやりがいを感じています。これからも子供たちと共にレベルアップできるよう、楽しみながら頑張っていきたいです。

3　広報こまつ 2026.1　　2

広報こまつ令和8年1月1日号



こまつをホームに

みんなで育む こまつの未来 vol.12

中学校部活動の地域展開、進んでます！

生徒数の減少により、各中学校の部活動では単独チームを作るのが難しい競技もあります。令和7年秋から始まる休日の運動部活動の地域展開に先駆けて、小松市野球協会では平日も含め、4月から活動を始めています。

問い合わせ　学校教育課　☎24・8122

▲男女合わせて30人が毎週火・木・土曜日に弁慶スタジアムで練習しています。

芦城中学校1年
前山 祐玖 さん

小学1年生から野球を始めました。小学生の時とは違って、別の学校の色々な子が集まって練習でき、交流もできるのがとても楽しいです。監督は厳しいこともありますが、あいさつできるチームは強いイメージがあるので、しっかりやりたいと思います。

小松ベースボールクラブ
監督　加嘴 鍋 さん（安宅中学校教諭）

部活動の教育的要素は残しつつ、あいさつなど礼儀正しさを取り入れながら、野球の技術指導をしています。目標に向かって努力し、達成することを通して、人として成長してほしいと願っています。

地域展開Q&A

詳しくはこちら▶

学校教育課
茶谷 允士 さん

Q 部活動の地域展開は、どんな競技が対象ですか？
A 現在市内中学校の部活動の種目である16競技が対象です。

Q 地域展開団体でスポーツ活動をしたいときは、どこへ申し込めばよいですか？
A 各種目別協会にお問い合わせください。

Q 地域展開の受け皿となるのは、どのような団体ですか？
A 各種目別協会などが設立するクラブが受け皿となります。指導者を募集している種目別協会もありますので、お問い合わせください。
問小松市スポーツ協会
☎23・5961

8

広報こまつ令和7年5月1日号

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料



【サッカー：基本のボールタッチから、実戦形式のシュート･守備の連係確認】



【剣道：武道館での合同稽古。基本に忠実な打ち込み練習】



【柔道：専門の指導者のもと、学年の垣根を越えた乱取り稽古】



【体操：マットを使った練習
指導員の補助で難易度の高い技に挑戦する様子】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年	令和5年	令和6年		令和7年	令和8年
協議会設置、検討開始	モデル事業の実施 受け皿団体や指導者の選定、拠点場所の確保	学校現場との調整 地域クラブ活動の開始	学校、生徒、保護者への説明 広報誌、HP等でPR	秋よりすべての運動部活動の休日の地域展開開始	文化部活動の休日の地域展開開始予定

●令和4～5年

市で検討を開始、こまつモデルを実施。

●経過

令和5年度より剣道とハンドボールをこまつモデルとして休日の地域移行を実施。

児童・生徒・保護者・教職員等へのアンケート実施

●実施にあたって生じた課題

活動場所の確保が難しい。学校体育館はスマートキー化により改善されたが、用具等の置き場も検討しなくてはならない。

学校・生徒・保護者等への周知が足りない。

●実施内容、工夫した点 等

各種目別協会の代表者と中体連専門委員長を集めて国の方針を受け、市の方針を説明。

●令和6年

7種目の競技が受け皿となり活動開始。

●経過

市関係部局で定例会を毎月実施し、課題の洗い出しや情報交換を行う。

各種目別協会が主となり、地域移行活動の受け皿を設置。

●実施にあたって生じた課題

指導者・活動場所の確保が難しい。各種目別協会は報告提出書類が多々あり、種目別協会の負担が大きい。

●実施内容、工夫した点 等

地域移行が進んでいない競技種目の代表者とヒアリングを実施し、地域クラブの立ち上げに向けて準備を進める。

地域クラブ活動への運営補助制度を設置。

●令和7年～

運動部活動の地域展開本格実施。

●経過

秋の新人大会終了後より、すべての運動部活動の地域展開を開始。

文化部活動は令和8年秋をめどに地域展開を目指す。

●実施にあたって生じた課題

指導者の確保、質の向上（研修）。

安定的な活動場所の確保。

移動手段。

●実施内容、工夫した点 等

地域クラブ活動による学校施設の優先利用。

国補助事業の継続。

広報誌やHPで市民へ周知。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

